

EARTH MAN
SERIES

190mm MITER SAW

プラスチックベースタイプ

DIY用

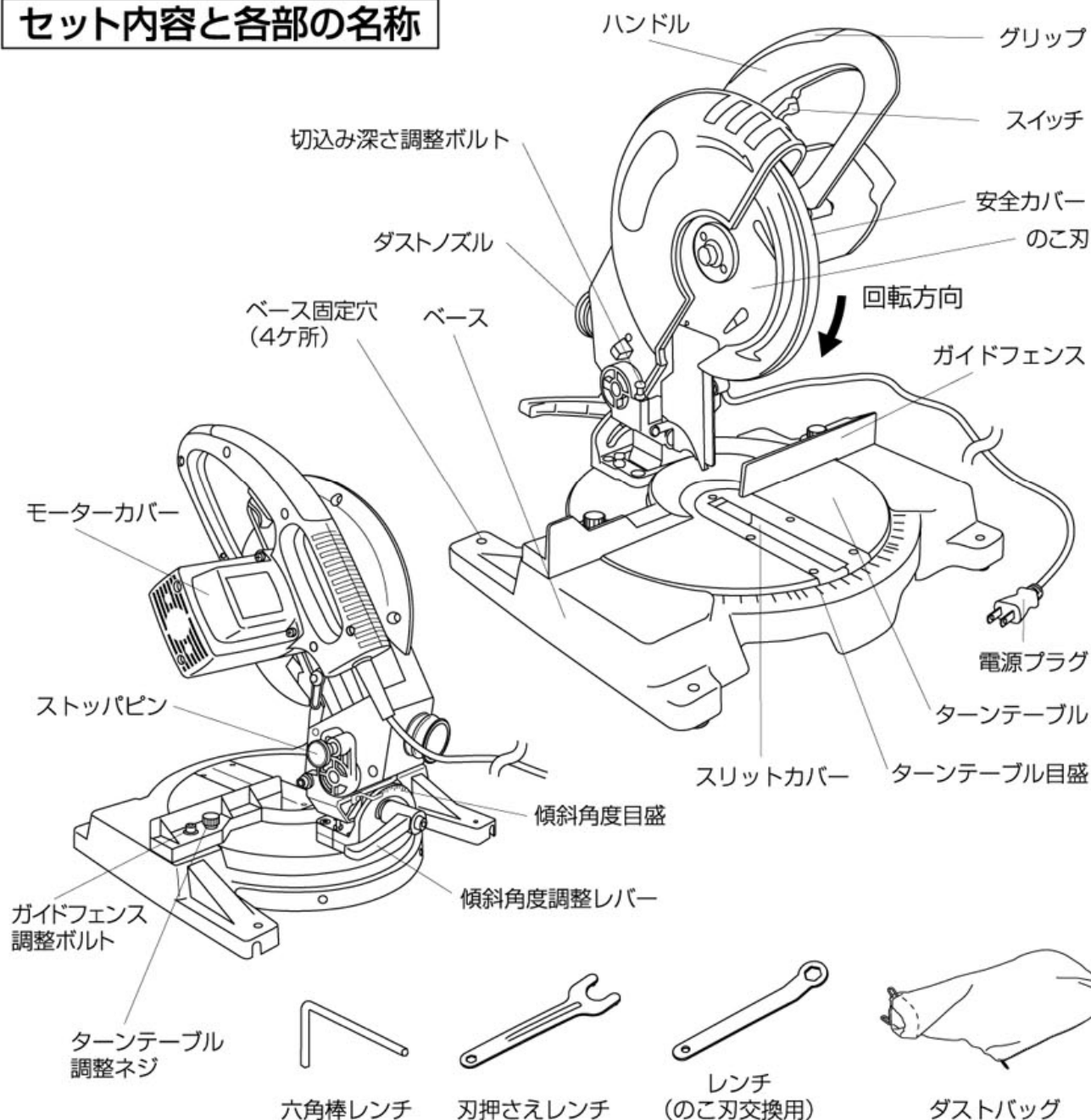


卓上丸のこ TM-190

※本機はDIY製品として開発されています。建築作業など精度が必要な切断には使用できません。

取扱説明書 使用前に必ずお読みいただき、お手元で大切に保管して下さい。

セット内容と各部の名称



用途

木材・合板の切断に。

- 安全作業を心がけて下さい。
- 使用方法を理解した上で使用して下さい。
- 刃物を高速に回転させる電動工具です。細心の注意を払い使用して下さい。

目 次

セット内容と各部の名称	表紙
仕 様	2
警 告	3
注 意	5
各部の調整の前に	
ストッパピンの解除・固定、 傾斜角度の変更、ターンテーブル角度の変更	6
各部の調整	
直角および傾斜角度の設定	7
ガイドフェンスの位置調整	9
切込み深さの調整、ダストバッグについて	10
使用方法・切断方法	
作業を行うにあたって	11
使用上の警告・注意	12
スイッチ操作・直角切断	13
角度切断・傾斜切断	14
複合切断・長い材木の切断について	15
のこ刃の取付け・取外し	16
保守・点検	17
MEMO	18
保 証	裏表紙

仕 様

電 源	100V 50/60Hz		
消 費 電 力	900W		
電 流	9.5A		
無 負 荷 回 転 数	約4500min ⁻¹		
の こ 刃 の 寸 法	外径190×内径20mm(本機は20mm専用機です。)		
のこ刃の厚み・刃数	厚み:1.8mm・刃数:40P		
切 断 能 力 幅×高さmm (のこ刃:190mm使用時) ※各部の調整の仕方によつて、多少の誤差が出ます。	ターンテーブル角度 のこ刃傾斜角度	0°(垂直)	左右45°
	0°(垂直)	約105×48	約70×48
	左45°	約105×30	約55×30
ターンテーブル回転範囲	左45°～右45°		
のこ刃傾斜範囲	0°～左45°		
本 体 サ イ ズ	縦約330×横約360×高さ約430mm		
質 量 (本 体 重 量)	約5.8kg		
コ ー ド 長 さ	約2m		
定 格 時 間	30分		

使用前に必ずお読みいただき、お手元に大切に保管して下さい。

この度は、お買い上げ誠に有難うございます。

御使用に際しては必ず、この取扱説明書をよくお読みいただき正しく使用して下さい。

お読みになった後は、必ず保管して下さい。

安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、製品を正しく安全に使用していただき、使用者自身や周囲に及ぶ可能性のある危険を防止する為に守っていただくものです。

また注意事項は、危害や損害の大きさと重大性の程度を明示する為に、

⚠ 警告（人が死亡または重傷を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容）

⚠ 注意（人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容）

の2種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので必ず守って使用して下さい。

本機はDIY商品として開発されています。一般家庭用として使用して下さい。

本品は木材・合板の切断に使用する電動工具です。用途以外には使用しないで下さい。

建築作業などの精度が必要な切断には使用できません。

⚠ 警 告

- 本品は刃物を高速に回転させる電動工具です。使用の際は細心の注意を払い、必ず取扱説明書をお読みになり使用方法を理解した上で使用して下さい。取扱いに不慣れな人、正しい操作のできない人には使用させないで下さい。
- 作業時には保護メガネ・マスクを着用し身軽な服装で行って下さい。また長い髪は帽子等で覆って下さい。軍手や袖口の開いた服、ネクタイ、ネックレスなどの装身具、長髪は巻き込まれる恐れがあり危険です。屋外での作業の場合にはゴム手袋や滑り止めのついた履物の着用をお勧めします。騒音の大きい作業では耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用して下さい。
- 故障、異常時（異常音、のこ刃が回転しない）は直ちに電源を切り作業を中止して下さい。絶対に自分で修理・分解・改造せず、お買い求めの販売店または(株)高儀までご連絡下さい。
- 本体を誤って落としたり、ぶつけた時は損傷、変形がないことを確認してから使用して下さい。
- 本体、スイッチ等を改造したり部品の追加、変更をしないで下さい。想定できない事故が発生する恐れがあります。
- 使用前に必ずのこ刃を人のいない方向に向け、無負荷で1分以上の試運転を行い異常振動やのこ刃のぶれ等、不具合がない事を確認して下さい。（特に、初めて使用される場合や、のこ刃を交換された場合は、3分以上行って下さい。）
- 輸送による振動でゆるみ・ひび割れ・破損がおこる場合があります。使用前に必ず異常がないことを確認・点検して下さい。
- 使用前に本体、のこ刃、安全カバーや可動部分の変形及び破損、位置調整、締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がなく正常に運転する事を十分に確認して下さい。
- 使用前に安全カバーがスムーズに動くことを確認して下さい。不具合のまま使用したり、安全カバーを固定して使用することは絶対にしないで下さい。思わぬ事故の原因になります。
- 収納時や一旦作業を中断する際、不用意に本体を床や台にぶつけると破損する恐れがあります。気をつけて扱って下さい。
- 使用前に必ず本体、のこ刃及び付属品にキズ、ひび割れ等の異常がないことを確認して下さい。切れ味の悪くなったものやキズ、ひび割れ等の異常があるものを使用した場合、破損やケガの恐れがあり大変危険です。絶対に使用しないで下さい。
- のこ刃で電源コードを切断しないように注意して下さい。
- 使用前には必ず電源コードや電源プラグを点検して下さい。無理に引っぱったり挟んだりせず、熱・油・尖ったものに近づけないで下さい。コードやプラグを痛んだまま使用されますとヤケド・感電・火災などの原因になります。
- のこ刃の取付けは必ず確実に行って下さい。特にフランジ・ネジなどをよく確認して下さい。又、のこ刃の回転方向を間違わないようにして下さい。
- 銘板に表示している範囲内のチップソー・のこ刃を使用して下さい。（チップソー・のこ刃の取付けは取扱説明書に従い確実に行って下さい。）

取付け可能なのこ刃

（外径）190～180mm（内径）20mm ※本機は20mm専用です。
注）刃底径が160mm以下ののこ刃は取付けないで下さい。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、調整・取付けに用いた工具が取外されていることを確認して下さい。
- のこ刃は加工材より下面に出ますので切断する加工材はしっかりと固定して下さい。不安定なまま使用されますとケガの原因になります。
- 切り落とし寸前や切断中、加工材の重みでのこ刃がはさまれないように加工材の切り落とし側にも同じ高さの台を設けて下さい。（切断後加工材が倒れたり落ちたりしてのこ刃に当たる様なことの無いように考慮して設置して下さい。）のこ刃がはさまれると正常に回転しません。モーター焼けにつながります。また不意な反発力によるケガの原因になります。
- 加工材の切断後、切り落とし側の材料が回転中ののこ刃に当たらないように注意して下さい。
- 小さな材料や切り落としを薄く切断することは、加工材が飛散して危険ですので行わないで下さい。
- 切断作業直後は加工物・モーター・のこ刃などが大変熱くなっている事があります。ヤケドの恐れがありますので、むやみに手で触れないで下さい。
- 切断後の加工物には、かえりができている事がありますので注意して下さい。
- 大変危険ですので、絶対に回転中ののこ刃やターンテーブルに手や顔を近づけないで下さい。
- スイッチを切っても、のこ刃はある程度惰性で回転を続けます。のこ刃が完全に停止した事を確認してからハンドルを引き上げて下さい。
- スイッチを切った瞬間に反発が生じます。その反動で機体を動かさない様に注意をして下さい。
- 電源プラグをコンセントにつないだまま放置しないで下さい。面倒でも、必ず作業が終わり次第電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 危険ですので、回転中ののこ刃の前に手を付かないで下さい。木屑などを払う場合は、必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いた状態で行って下さい。
- 切断する加工材の中に異物（釘・ネジなど）がないか、加工物の下に障害物が無いか確認して下さい。刃こぼれだけではなく、強い反発力が生じケガの原因になります。
- 切断開始・切断終了直前に強い抵抗がかかります。加工物はしっかりと固定し、機体をしっかりと保持して下さい。
- 用途に従って使用して下さい。用途以外の使用及び、能力を超える過酷な作業（のこ刃の回転が止まってしまうほど強い負荷をかけるなど）や使用方法を無視した使用（切断中に無理にこじる・安全カバーを固定する・加工物が浮いた状態での切断など）を行われますと、機体の破損だけでなく、大ケガの原因になります。
- 体調のすぐれない時や作業に疲れた時は使用をひかえて下さい。又、炎天下での作業はできるだけ避けて下さい。作業される場合は暑さ対策をして、体調に十分注意して下さい。
- 本機は水平で安定した場所にしっかりと固定して下さい。
- 足場の不安定な所や無理な姿勢での作業は思わぬ事故につながる恐れがあり危険です。また高所での作業の際は下に人がいないか注意し工具の落下などがないように十分気を付けて下さい。
- 安全な作業をする為には、作業場はいつもきれいに整理をし十分な照明が必要です。作業に邪魔になるものは移動、又は取り除いて下さい。
- 整理整頓を心がけ関係者以外は作業場に近づけないで下さい。また使用後は幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 高温多湿になる場所、暖房器具の近く、雨中やぬれる場所では使用しないで下さい。
- 粉塵を発生する作業に関しては換気の実施、排気装置、除塵装置、呼吸用保護具等の使用が定められた「粉塵障害防止規制」があります。この規則に従って正しくご使用ください。
- 電源プラグ・本体の通気穴にホコリが付着している場合はよく取除いて下さい。また、モーター部を布等燃えやすい物で覆わないで下さい。
- 使用中やスイッチのON・OFF時、内部から火花が発生し見えることがあります但し故障ではありません。又、ガソリン・ガス・シンナー・塗料・接着剤など引火、爆発の恐れのある場所では使用しないで下さい。（また雨や湿気の多い場所での使用も避けて下さい。）
- 電源は必ず家庭用コンセントAC100Vを使用し、発電機やインバータ電源は使用しないで下さい。またタコあし配線はしないようにし、電圧が急激に変動する場所では使用しないで下さい。
- 電源プラグをコンセントに差し込む時、抜く時は必ずスイッチが切れていることを確認して下さい。また、停電の時はスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- コードをつかんで電源プラグをコンセントから引き抜かないで下さい。必ず電源プラグを持って抜いて下さい。

- 点検、清掃、のこ刃を交換する場合・使用しない場合・作動すると危険な場合は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 濡れた手で作業・取付けをしたり、電源プラグの抜き差しをしないで下さい。
- 使用後は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 本体を移動する場合は必ず電源プラグをコンセントから抜き、スイッチに指をかけないで下さい。
- 感電の恐れがあります。ぬれた所や湿気の多い所・雨中での使用やぬれた手で電源プラグを触ったりしないで下さい。また使用中に身体をアース（接地）されているもの（電子レンジや冷蔵庫、パイプ等）に接触しないようにして下さい。

⚠ 注 意

- 延長コードが必要な場合は、十分な太さ〈公称断面積〉（1.25mm²以上）の電源コードでできるだけ短く使用して下さい。
目安として本体コードと同じ被覆を施したコードを使用して下さい。（合計15m以内）

使用できるコードの太さ（公称断面積）と最大長さの関係

		電 流 値		
	コードの長さ	～5A	5～10A	10～12A
コードの 太さ (公称断面積)	0.75mm ²	20m		
	1.25mm ²	30m	15m	10m
	2.0mm ²	50m	30m	20m

ドラム式の延長コードをお使いの場合は、発熱により電圧降下や火災事故を防止する為、コードはすべて引き出して使用してください。

- 機体の風穴はモーターを冷やす為に必要です。埃が飛ぶからといって風窓をふさがしないで下さい。
ふさぐとモーターの温度が上昇し焼損の原因となります。
- 法令及び各都道府県などの条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないよう状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。
- 油やグリスが付着した製品は保持しづらく危険です。製品が汚れた時は柔らかくよく水気をしぼった布で水拭きし(汚れのひどい場合は、薄めた中性洗剤を使用して下さい。)、乾いた布で水分を残さないように拭き取ってください。ワックス、アルコール類、シンナー、ベンジン等のご使用は製品の破損や故障の原因となります。
- 常温（5℃～40℃）で使用してください。
- 火のそば、暖房器具のそば、直射日光下、閉切った車の中、クーラーの風の直接あたる場所には、放置しないで下さい。変形、変色、劣化の恐れがあります。
- 雨中やぬれた場所、風通しの悪い場所、湿気の多い場所、ゴミ・ホコリの多い場所、高温、直射日光下での長時間の使用、保管は避けてください。
- 連続運転は30分以内にして下さい。本機は短時間（連続30分）の使用に設計されてあります。
モーターが過熱する恐れがあります。長時間の連続使用はしないで下さい。
- のこ刃はお手入れをこまめにし、よく切れる状態に保って下さい。
(お手入れの際には必ず電源プラグを抜いて下さい。)
- フランジや回転軸、安全カバーに切屑、砂、研削粉などのゴミが入らないよう注意して下さい。
入った場合はゴミを取り除いて下さい。定期的に清掃して下さい。
- 本体をゴミ、ホコリの多い場所、高温や直射日光のあたる場所（50℃以上）、湿気の多い場所、風通しの悪い場所、小さなお子様の手の届く場所には保管しないで下さい。本機にはのこ刃（刃物）がついています。その事を十分考慮して保管して下さい。

二重絶縁とは

電気回路と使用者の間を二重に絶縁した構造の事を言います。そのため感電に対して安全性が高くなっており、アースを取る必要がありません。

各部の調整の前に

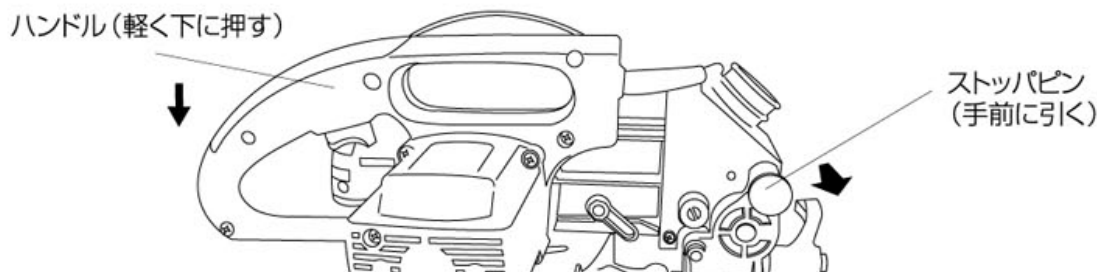
ストッパピンの解除・固定について

※電源プラグを抜いて下さい。

○商品の梱包時ストッパピンで本体を固定してあります。図のようにハンドルを軽く下に押しながら、ストッパピンを手前に引き出すとハンドルが上がります。

※ハンドルを上げた反動でこの刃や機体が体に触れる恐れがありますので、ハンドルをしっかりと持ちゆっくりと上げて下さい。

※ストッパピンを固定する場合は逆の手順で行って下さい。



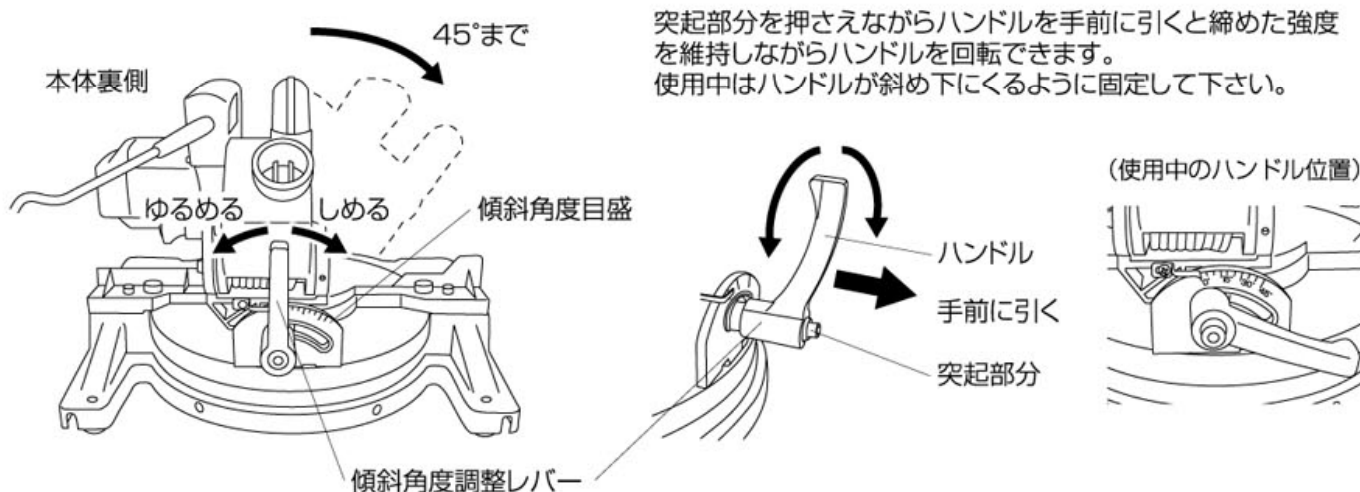
傾斜角度の変更

※電源プラグを抜いて下さい。

○本体後部にある傾斜角度調整レバーをゆるめて、この刃をベースに対して片側最大45°まで傾斜させることができます。

○切断位置を目的の傾斜角度目盛に合わせましたら傾斜角度調整レバーでしっかりと締め、固定して下さい。

※スイッチを入れる前にも必ず傾斜角度調整レバーがしっかりと締まっているか確認して下さい。

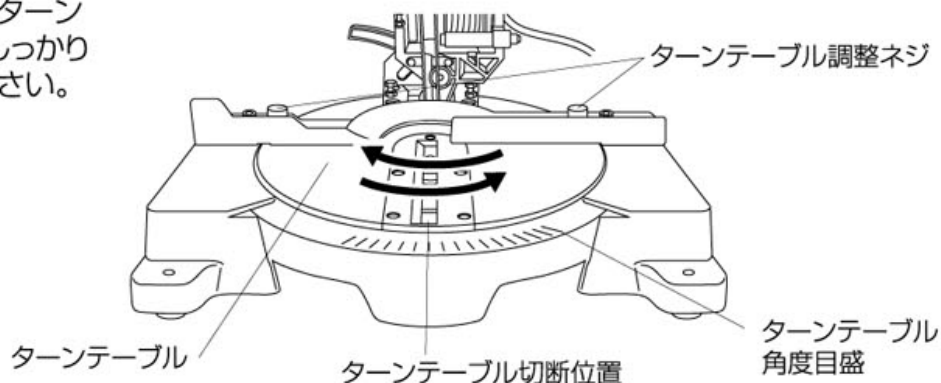


ターンテーブル角度の変更

※電源プラグを抜いて下さい。

○図のようにターンテーブル調整ネジ左右をゆるめるとターンテーブルを回転する事が可能になります。左右に45°まで回転しますのでターンテーブル切断位置を目的のターンテーブル角度目盛に合わせてしっかりとターンテーブル調整ネジ(左右)を締め、固定して下さい。

※スイッチを入れる前にも必ずターンテーブル調整ネジ(左右)がしっかりと締まっているか確認して下さい。



各部の調整

- 使用前に直角・傾斜角度、ガイドフェンス位置、切込み深さの調整がずれていないか点検して下さい。
- 各調整用のネジ・ボルト・ナットは作業の振動などでゆるまない様しっかりと締めて下さい。ゆるむと思わぬケガの原因になります。
- 調整時のこ刃でケガをしない様十分気をつけて下さい。

直角および傾斜角度の設定

※電源プラグを抜いて下さい。

- 切断する前に本体自体の傾きを無くし垂直に合わせるために、本体後部にあるナットやネジを次の手順で調整して下さい。
- ①傾斜角度目盛0°、ターンテーブル角度目盛0°の状態でハンドルを下に押し下げストッパピンで固定して下さい。(P6各部の調整の前に参照)
- ②のこ刃とターンテーブルに三角定規(市販品)を当て、三角定規とのこ刃間にすき間がないか確認して下さい。すき間が開いていた場合は図1ボルト・ナットAを上下に調節し、ターンテーブルとのこ刃の直角合わせをして下さい。(ボルト高さの調整方法参照)

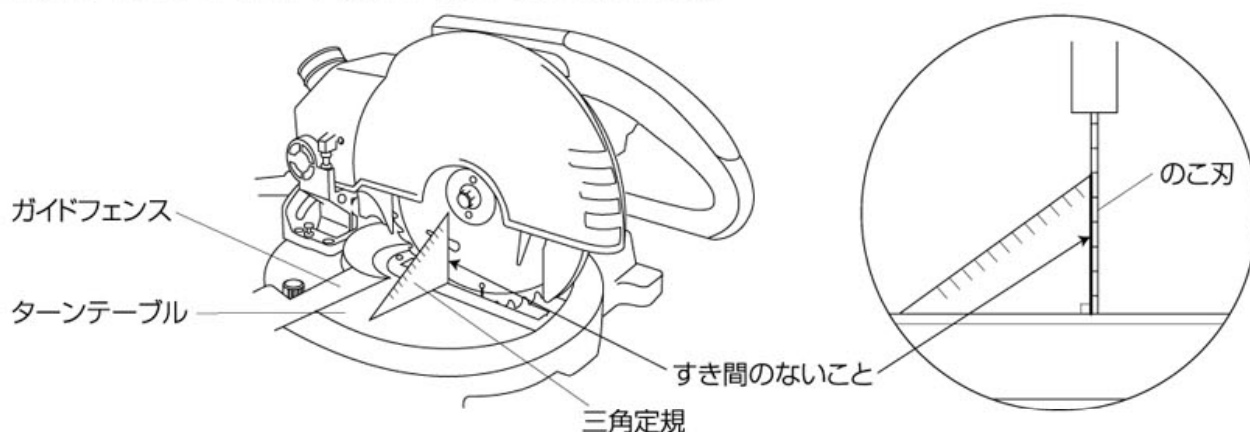
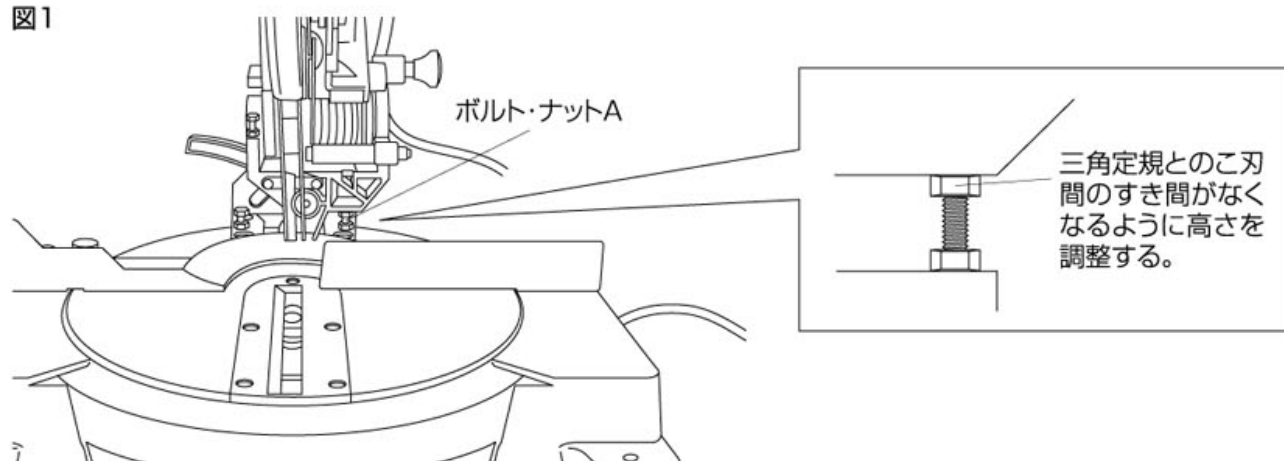
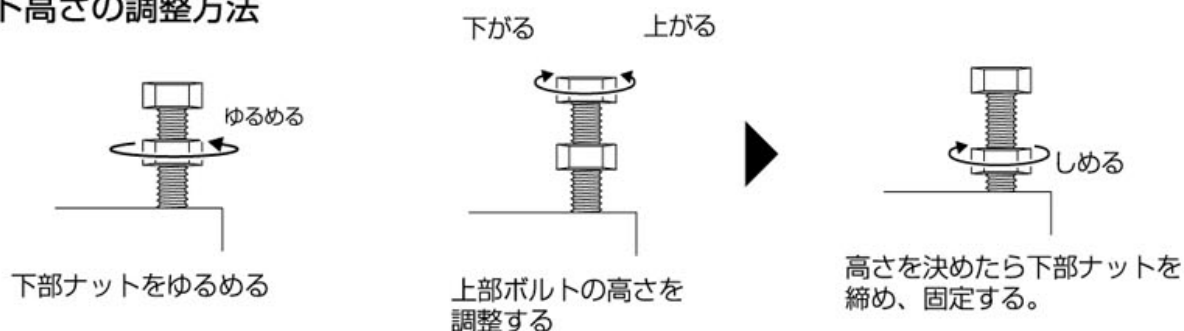


図1

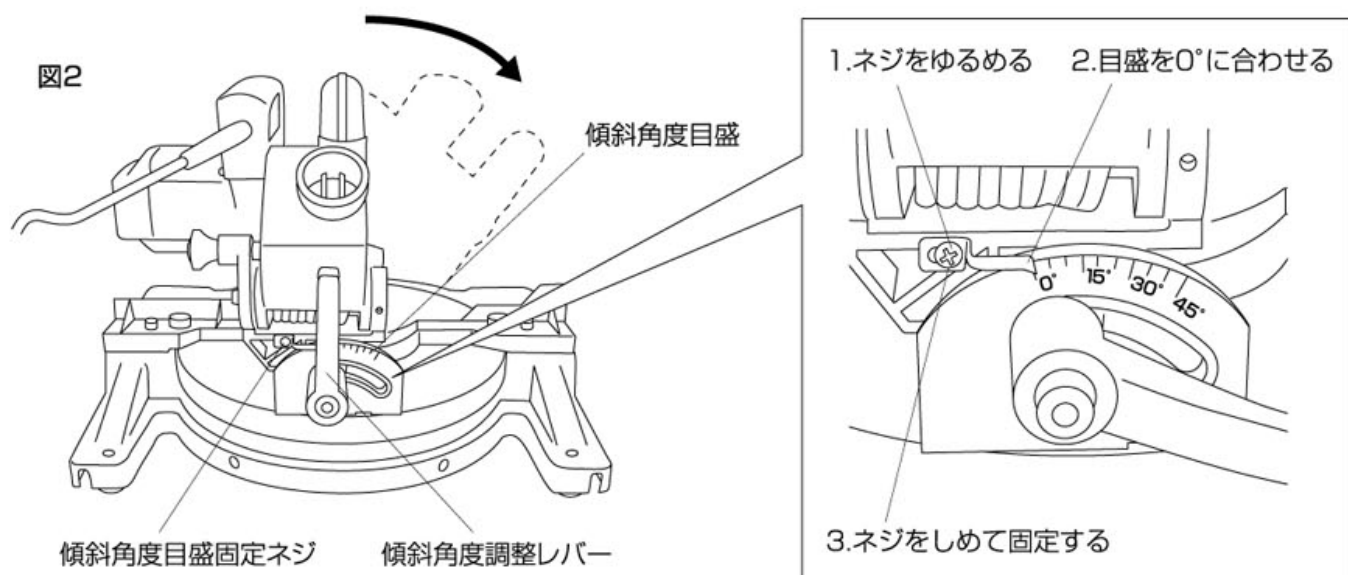


ボルト高さの調整方法

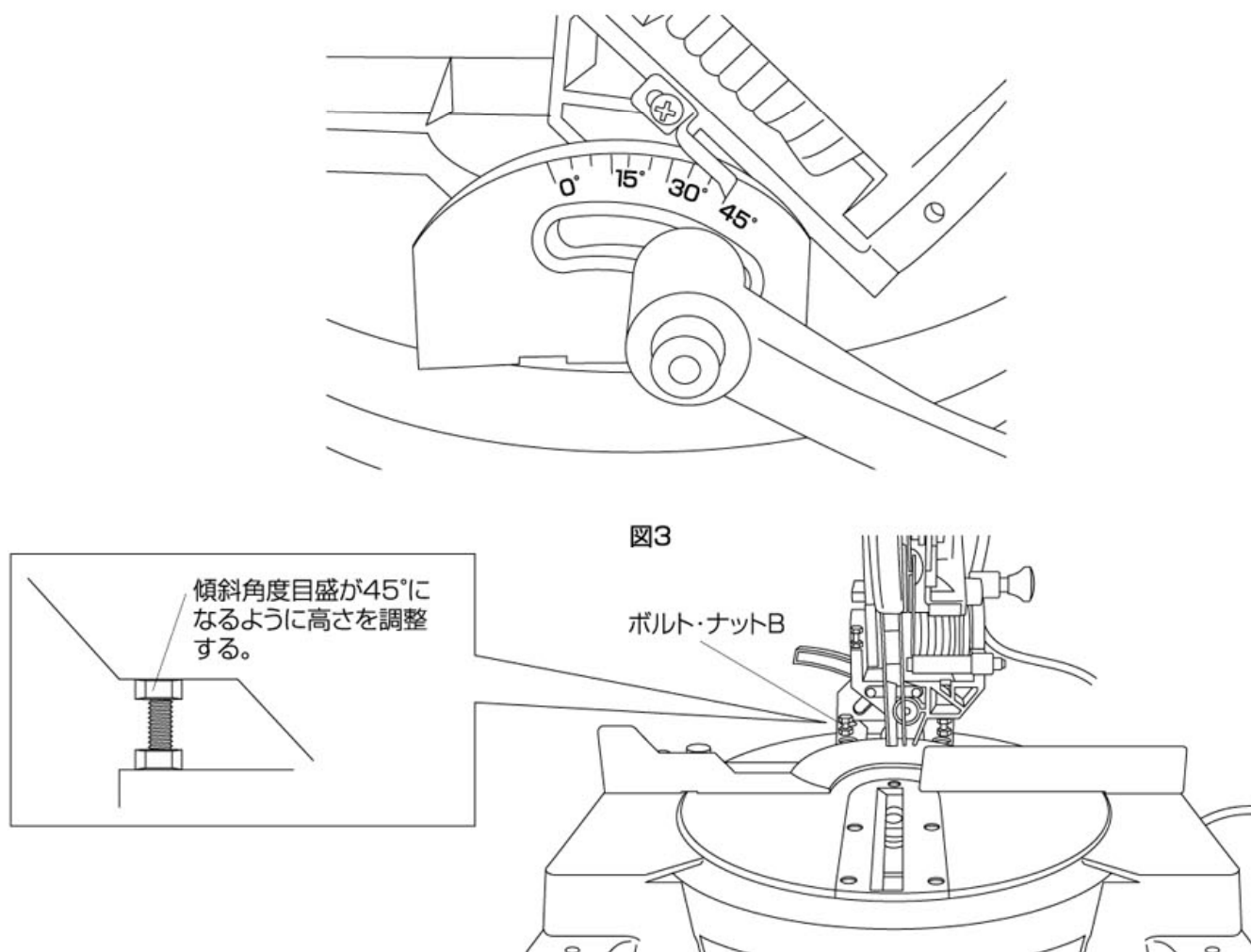


※直角及び傾斜角度の設定、切込み深さの調整で使うボルト・ナットはこの方法で調整できます。

③⊕ドライバー（市販品）を用いて図2本体後部の傾斜角度目盛固定ネジをゆるめて0°に合わせた後、しっかりと締めて下さい。



④本体を傾け45°の目盛位置で止まるように、図3ボルト・ナットBを上下に調整して下さい。
(P7ボルト高さの調整方法参照)

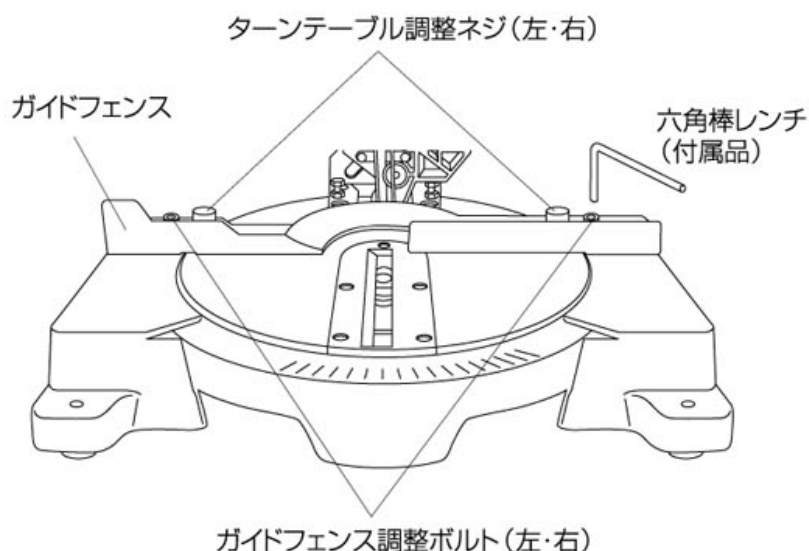


ガイドフェンスの位置調整

※電源プラグを抜いて下さい。

①ターンテーブル調整ネジ(左・右)
を手でゆるめて下さい。

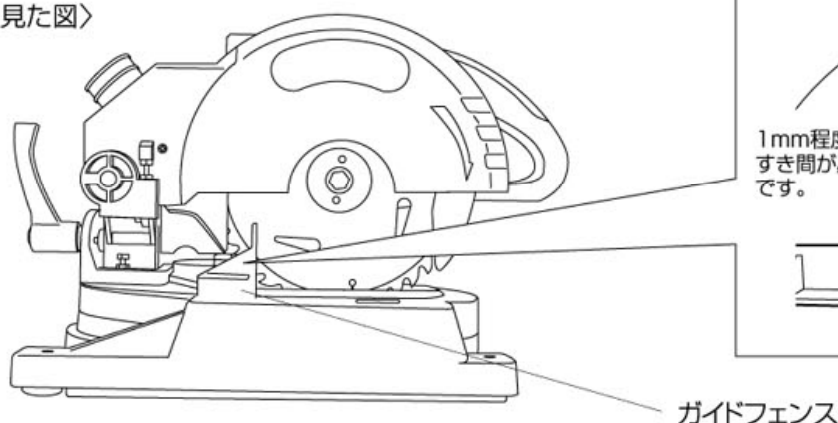
②ガイドフェンス調整ボルト(左・右)
を付属の六角棒レンチ(5mm)を
使いゆるめて下さい。



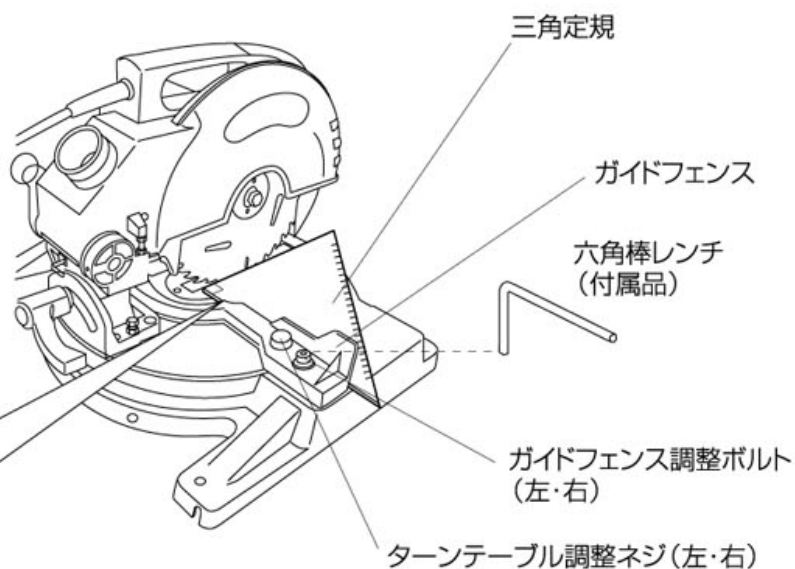
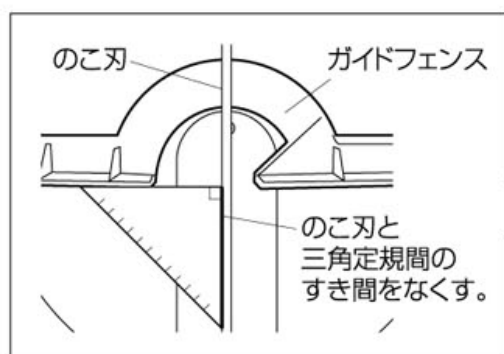
③ガイドフェンスは奥の突き当てから1mm程度のすき間を設けて下さい。

※突き当てるとターンテーブルの動きが悪くなります。

〈横から見た図〉



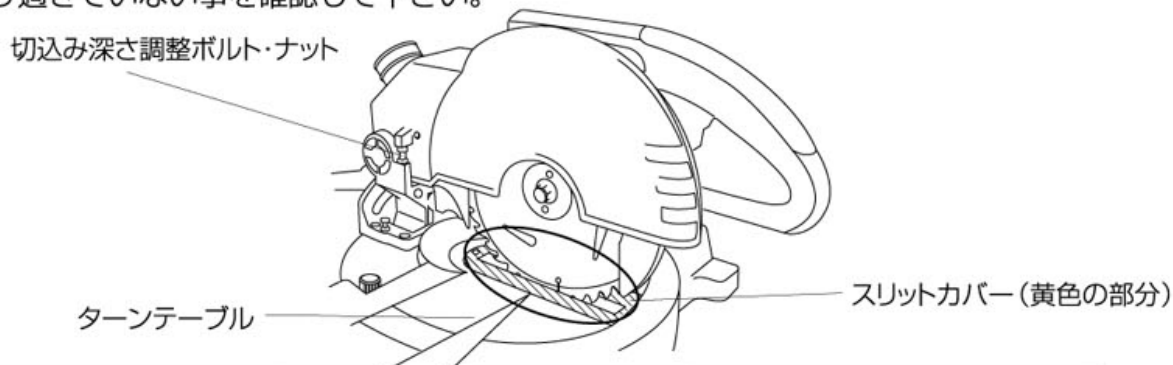
④右図のようにのこ刃とガイドフェンスが直角になるように三角定規(市販品)を当て、のこ刃と三角定規間にすき間が空いてないか確認して下さい。すき間が空いていた場合は、ガイドフェンスを調整し、のこ刃との直角合わせをして下さい。その後ガイドフェンス調整ボルトでしっかりと締めて下さい。



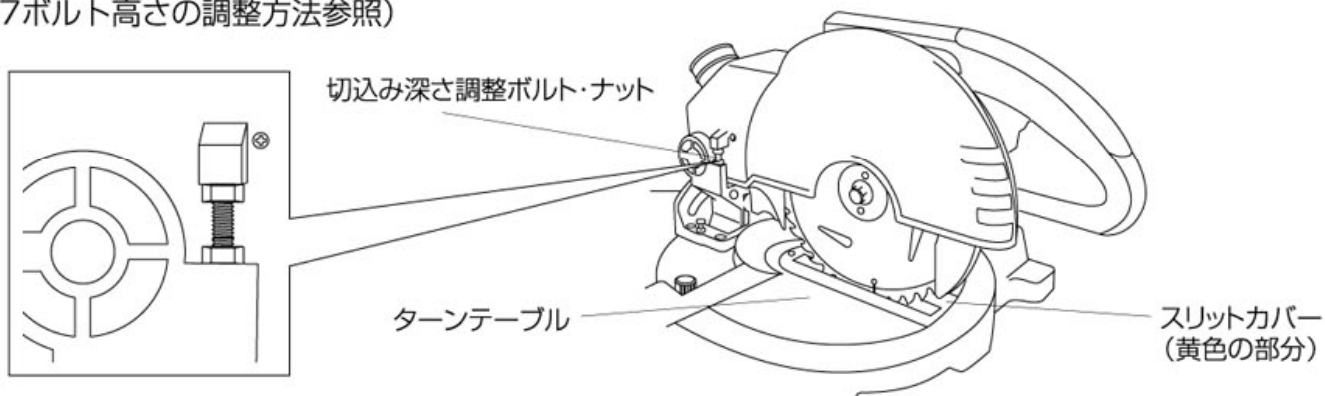
切込み深さの調整

※電源プラグを抜いて下さい。

- ①本体ハンドルを最も下まで押し下げてのこ刃の外周がターンテーブル底面およびスリットカバーに接触または上がり過ぎていない事を確認して下さい。



- ②のこ刃が接触または上がり過ぎている場合は切込み深さ調整ボルト・ナットを調整して下さい。
(P7ボルト高さの調整方法参照)



- ご使用前には必ずのこ刃の下限位置の確認を行って下さい。特にのこ刃を交換した際には注意して下さい。

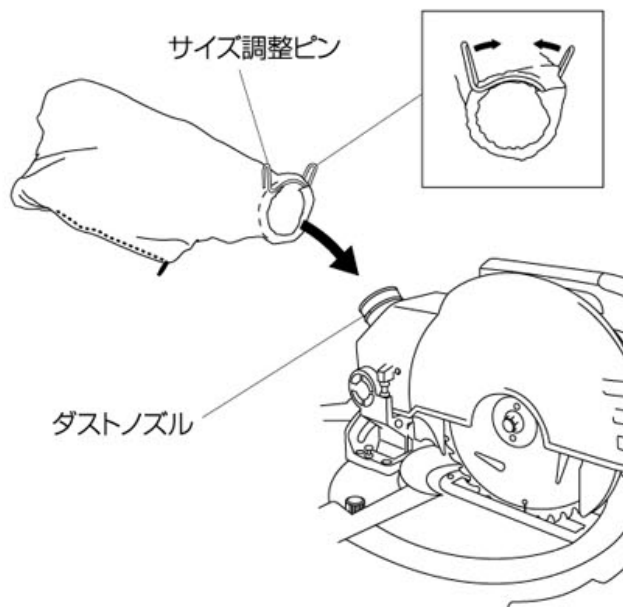
ダストバッグについて

取り付け

- ダストバッグのサイズ調整ピンをつまみ、ダストバッグの穴径を開きます。穴径を開いたままダストノズルにかぶせて下さい。

取り外し

- 取り付けの逆の手順でダストバッグのサイズ調整ピンをつまみ、穴径を開きます。ダストバッグ内の切削粉をこぼさないように抜き取って下さい。
※作業後はダストバッグのファスナーを開き、中のゴミを捨てて下さい。
※ダストバッグにゴミがたまりすぎると、吸じん力が弱くなります。
※ダストバッグは吹き上がる切削粉の一部を集めるものです。



使用方法

作業を行なうにあたって

- 本品は刃物を高速に回転させる電動工具です。使用の際は細心の注意を払い、必ず取扱説明書をお読みになり使用方法を理解した上で使用して下さい。取扱いに不慣れな人、正しい操作のできない人には使用させないで下さい。
- 作業時には保護メガネ・マスクを着用し身軽な服装で行って下さい。また長い髪は帽子等で覆って下さい。軍手や袖口の開いた服、ネクタイ、ネックレスなどの装身具、長髪は巻き込まれる恐れがあり危険です。屋外での作業の場合にはゴム手袋や滑り止めのついた履物の着用をお勧めします。騒音の大きい作業では耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用して下さい。
- 使用前に必ずのこ刃を人のいない方向に向け、無負荷で1分以上の試運転を行い異常振動やのこ刃のぶれ等、不具合がない事を確認して下さい。（特に、初めて使用される場合や、のこ刃を交換された場合は、3分以上行って下さい。）
- 使用前に必ず本体、のこ刃及び付属品にキズ、ひび割れ等の異常がないことを確認して下さい。切れ味の悪くなったものやキズ、ひび割れ等の異常があるものを使用した場合、破損やケガの恐れがあり大変危険です。絶対に使用しないで下さい。
- 銘板に表示している範囲内のチップソー・のこ刃を使用して下さい。（チップソー・のこ刃の取付けは取扱説明書に従い確実に行って下さい。）

取付け可能なのこ刃

（外径）190～180mm（内径）20mm ※本機は20mm専用です。
注）刃底径が160mm以下ののこ刃は取付けないで下さい。

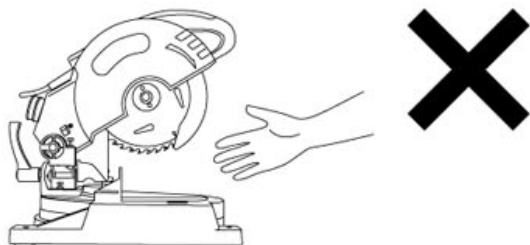
- 切断作業直後は加工物・モーター・のこ刃などが大変熱くなっている事があります。ヤケドの恐れがありますので、むやみに手で触れないで下さい。
- 切断後の加工物には、かえりができている事がありますので注意して下さい。
- 大変危険ですので、絶対に回転中ののこ刃に手や顔を近づけないで下さい。
- スイッチを切ってものこ刃はある程度惰性で回転を続けます。のこ刃が完全に停止した事を確認してからハンドルを引き上げて下さい。
- 体調のすぐれない時や作業に疲れた時は使用をひかえて下さい。又、炎天下での作業はできるだけ避けて下さい。作業される場合は暑さ対策をして、体調に十分注意して下さい。
- 足場の不安定な所や無理な姿勢での作業は思わぬ事故につながる恐れがあり危険です。また高所での作業の際は下に人がいないか注意し工具の落下などがないように十分気を付けて下さい。
- 安全な作業をする為には、作業場はいつもきれいに整理をし十分な照明が必要です。作業にじゃまになるものは移動、又は取り除いて下さい。
- 整理整頓を心がけ関係者以外は作業場に近づけないで下さい。また使用後は幼児の手の届かない所に保管して下さい。
- 高温多湿になる場所、暖房器具の近く、雨中やぬれる場所では使用しないで下さい。
- 電源プラグをコンセントに差し込む時、抜く時は必ずスイッチが切れていることを確認して下さい。また、停電の時はスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 点検、清掃、のこ刃を交換する場合・使用しない場合・作動すると危険な場合は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
- 濡れた手で作業・取付けをしたり、電源プラグの抜き差しをしないで下さい。
- 本体を移動する場合は必ず電源プラグをコンセントから抜き、スイッチに指をかけないで下さい。
- 常温（5℃～40℃）で使用して下さい。
- 連続運転は30分以内にして下さい。本機は短時間（連続30分）の使用に設計されております。

使用上の警告・注意

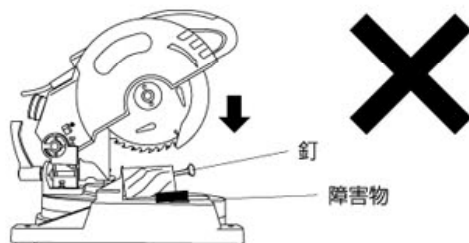
●故障、異常時（異常音、のこ刃が回転しない）は直ちに電源を切り作業を中止して下さい。絶対に自分で修理・分解・改造せずに、お買い求めの販売店または(株)高儀までご連絡下さい。

●電源プラグをコンセントへ差し込む前に、調整・取付けに用いた工具が取り外されていることを確認して下さい。

●モーターの回転中、のこ刃及びターンテーブルには絶対に手や顔を出さないでください。ケガの恐れがあります。

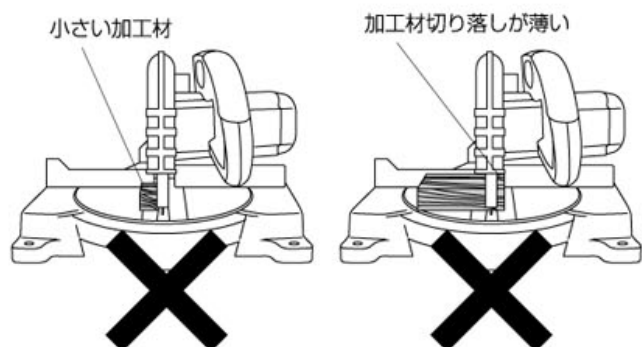


●切断する加工材の中に異物（釘・ネジなど）がないか、加工物の下に障害物がないか確認して下さい。刃こぼれだけでなく、強い反発力が生じケガの原因になります。



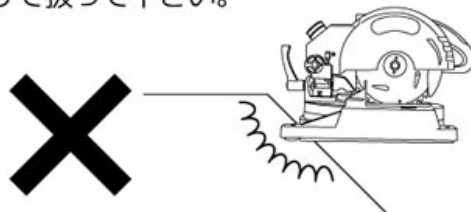
●切断開始・切断終了直前に強い抵抗がかかります。必ず加工物をしっかりと固定し、機体をしっかりと保持して下さい。

●幅の短い小さな加工材の切断や幅の大きい加工材でも切り落としを薄く切断する事は絶対にしないで下さい。加工材がのこ刃に巻き込まれて周囲に飛散するなど、ケガの原因になります。



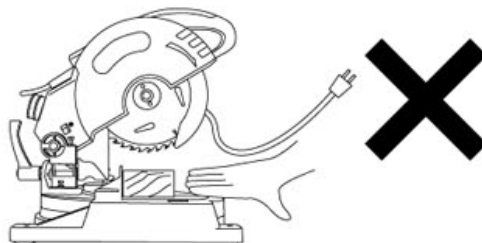
●使用前に安全カバーがスムーズに動くことを確認して下さい。不具合のまま使用したり、安全カバーを固定して使用することは絶対にしないで下さい。思わぬ事故の原因になります。

●収納時や一旦作業を中断する際、不用意に本品を床や台にぶつけると破損する恐れがあります。気をつけて扱って下さい。



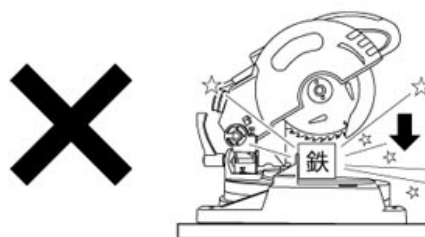
●切断後はのこ刃が完全に停止してからハンドルを持ち上げて下さい。

●ターンテーブルに手をついたり電源コード等を置かないで下さい。大ケガ・感電の原因となります。



●本機は水平で安定した場所にしっかりと固定して下さい。

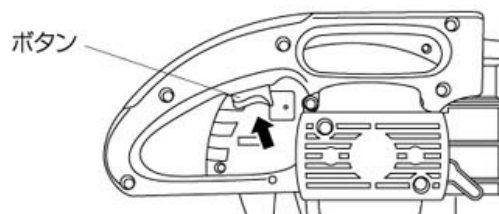
●用途に従って使用して下さい。
用途以外の使用及び、能力を超える過酷な作業（のこ刃の回転が止まってしまうほど強い負荷をかけるなど）や使用方法を無視した使用（木材以外の切断や、切断中に無理にこじる・安全カバーを固定する・加工物が浮いた状態での切断など）を行われますと、機体の破損だけでなく、大ケガの原因になります。



スイッチ操作

〈スイッチボタン〉

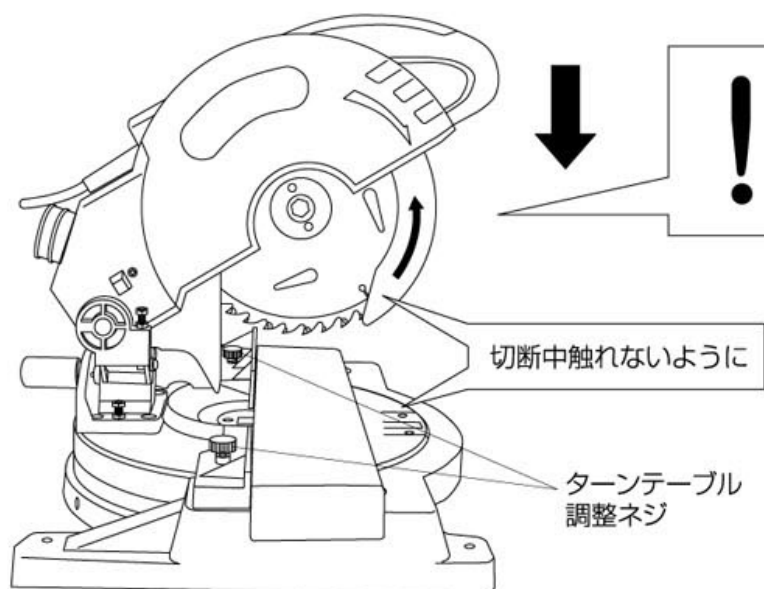
矢印の方向にボタンを引くと、のこ刃が回転し、離すと徐々に回転が止まります。



切断方法

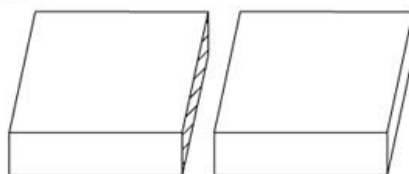
直角切断について～ ターンテーブル角度0°・傾斜角度0°で、垂直に切断する方法。

- ターンテーブル調整ネジ(左・右)をゆるめてターンテーブル角度目盛を0°に合わせてしっかりとネジを締めて下さい。
- 加工材をターンテーブルに乗せてガイドフェンスに押し合わせてしっかりと固定して下さい。加工材の固定、本体の保持、周囲環境を確認の上、スイッチを入れて下さい。(まだのこ刃は加工材に当てないで下さい。)
- のこ刃の回転が安定したらハンドルをゆっくりこじらない様に押し下げて、切り始めて下さい。
- ハンドルを操作するときのはのこ刃と平行な方向に力を加えて下さい。力の方向がずれると切断精度が悪くなります。
- 切断が終わったところでスイッチを切り、のこ刃の回転が完全に止まってからハンドルを引き上げて下さい。
- 約幅105mm×高さ48mmまでの加工材を切断可能です。(最大切込み深さは設定の仕方や力の入れ具合により若干の誤差があります。)
- ※切断途中でスイッチを切ったり、加工材をずらしたりしないで下さい。強い反発力が生じケガの原因となります。
- ※連続切断をしますとモーターが過負荷状態になります。モーターが熱くなっている場合は停止させて十分に冷ましてから切断作業をして下さい。
- ※切断中、のこ刃の回転が止まってしまうほど強い負荷をかけないで下さい。ハンドルに力を入れ過ぎてもモーターに負荷をかけるだけで切断能力が悪くなります。
- ※本機はDIY製品として開発されています。建築作業など精度が必要な切断には使用できません。



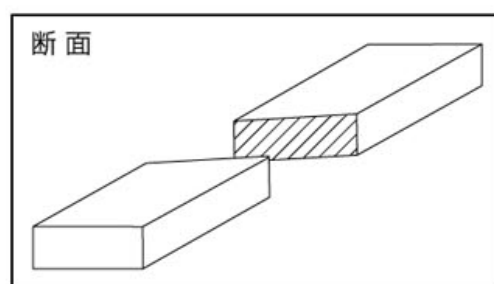
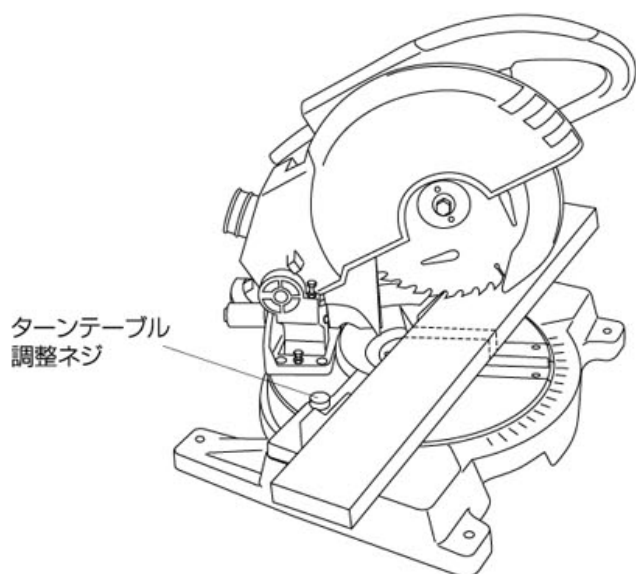
安全カバーはハンドルを下げると自動的に開きます。固定して使用したり、手で開いたりしないでください。又、安全カバーがスムーズに動かない場合は、使用しないでください。

断面



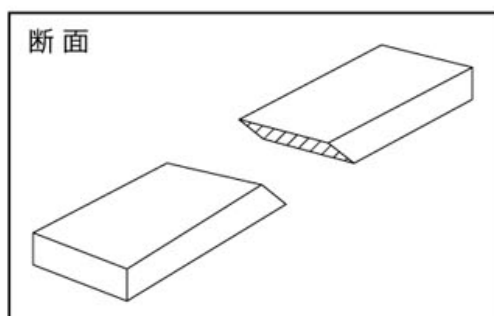
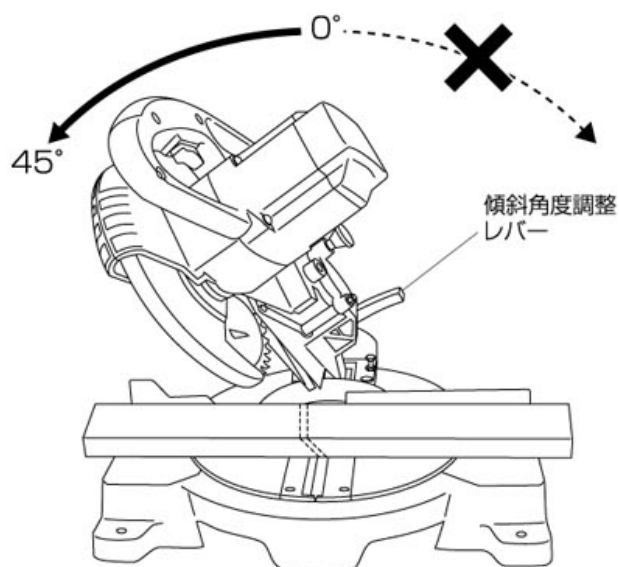
角度切断について～ ターンテーブル角度を調整して斜めに切断する方法。（傾斜角度目盛は0°）

- P6、[ターンテーブル角度の変更] をご覧になりターンテーブルを固定しているターンテーブル調整ネジを緩めて角度目盛を左右0°～45°以内で目的の角度に合うように本体を回転させてください。
 - 角度が変わらないようにしっかりとターンテーブル調整ネジを締め、加工材の固定・本体の保持・周囲環境を確認の上切断して下さい。
 - ハンドルを操作するときはこの刃と平行な方向に力を加えて下さい。力の方向がずれると切断精度が悪くなります。
 - 約幅70×高さ48mmまでの加工材を切断できます。（最大切込み深さは設定の仕方や力の入れ具合により若干の誤差があります。）
- ※本機はDIY製品として開発されています。建築作業など精度が必要な切断には使用できません。



傾斜切断について～ 本体ヘッド部を傾けて切断する方法。（ターンテーブル角度目盛は0°）

- P6、[傾斜角度の変更] をご覧になり傾斜角度調整レバーを緩めて角度目盛を0°～左45°以内で目的の角度に合うように本体を傾斜させてください。
- 角度が変わらないようにしっかりと傾斜角度調整レバーを締め、加工材の固定・本体の保持・周囲環境を確認の上切断して下さい。
- ハンドルを操作するときはこの刃と平行な方向に力を加えて下さい。力の方向がずれると切断精度が悪くなります。
- 約幅105×高さ30mmまでの加工材を切断できます。（最大切込み深さは設定の仕方や力の入れ具合により若干の誤差があります。）



※本機はDIY製品として開発されています。建築作業など精度が必要な切断には使用できません。

複合切断について～ ターンテーブル角度を調整してさらに本体ヘッド部を傾けて切断する方法。

○P14、[角度切断]と[傾斜切断]を同時に行う切断方法です。

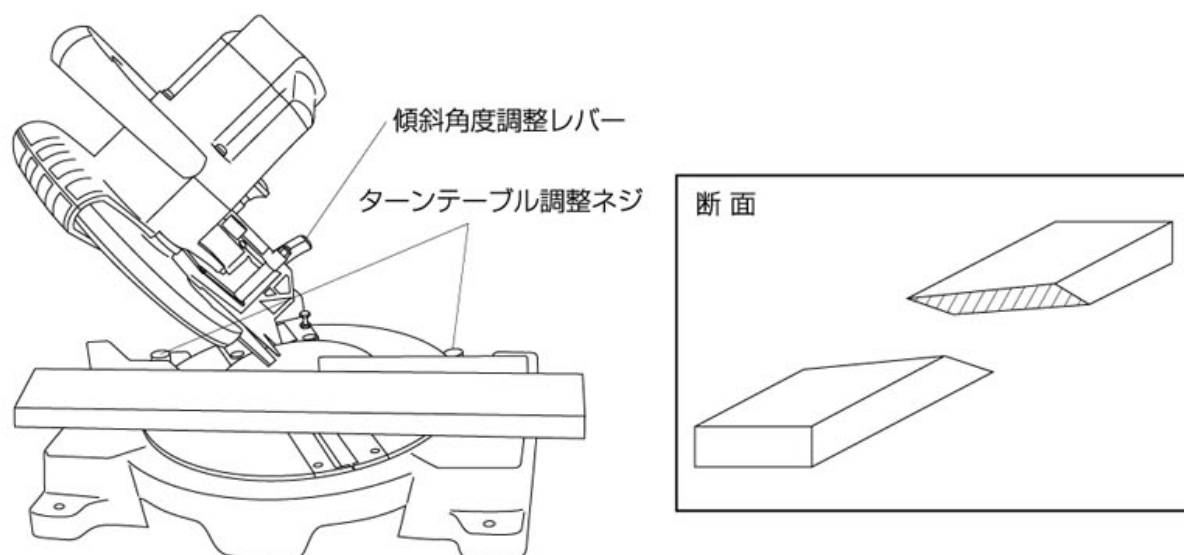
○P6テーブル角度の変更と傾斜角度の変更をご覧になり、ターンテーブル調整ネジ、傾斜角度調整レバーを調整し、目的の角度に合わせてください。

○ハンドルを操作するときはこの刃と平行な方向に力を加えて下さい。力の方向がずれると切断精度が悪くなります。

○加工材の固定・本体の保持・周囲環境を確認の上切断して下さい。

○約幅55×高さ30mmまでの加工材を切断できます。ターンテーブルは左右角度45°、傾斜角度は左45°まで可能です。(最大切込み深さは設定の仕方や力を入れ具合により若干の誤差があります。)

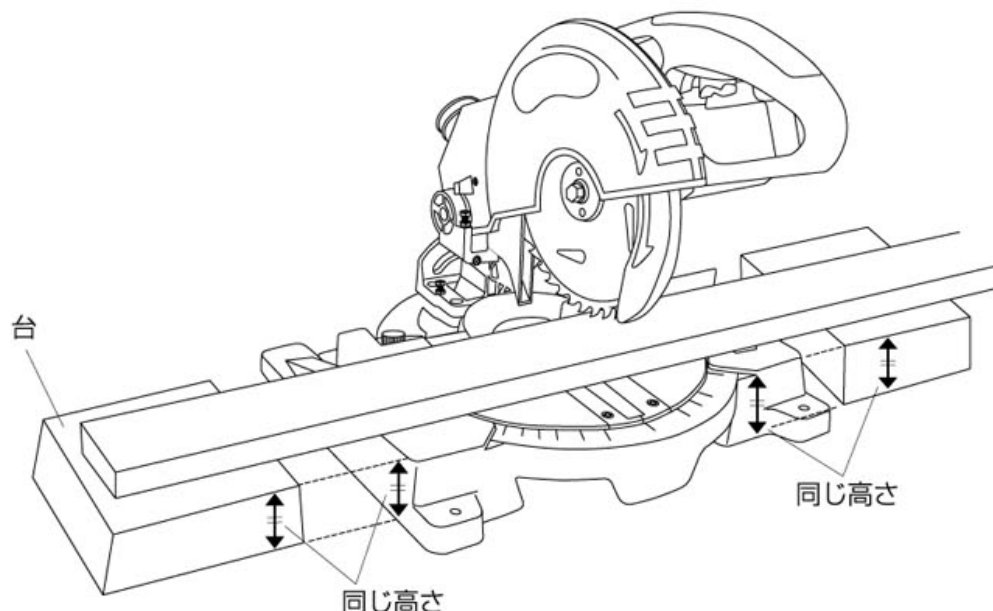
※本機はDIY製品として開発されています。建築作業など精度が必要な切断には使用できません。



長い木材の切断について～

○切り落とし寸前や切断中、加工材の重みでこの刃がはさまれないように加工材の切り落とし側にも同じ高さの台を設けて下さい。のこ刃がはさまれると正常に回転しません。モーター焼けにつながります。又、不意な反発力によるケガの原因になります。

※のこ刃は加工材に急激に押し付け、こじり、ひねりを加えないで下さい。切り込み深さを超える加工材への連続作業等、苛酷な作業はおやめ下さい。**チップの飛び、刃欠け、モーター故障の原因となります。**

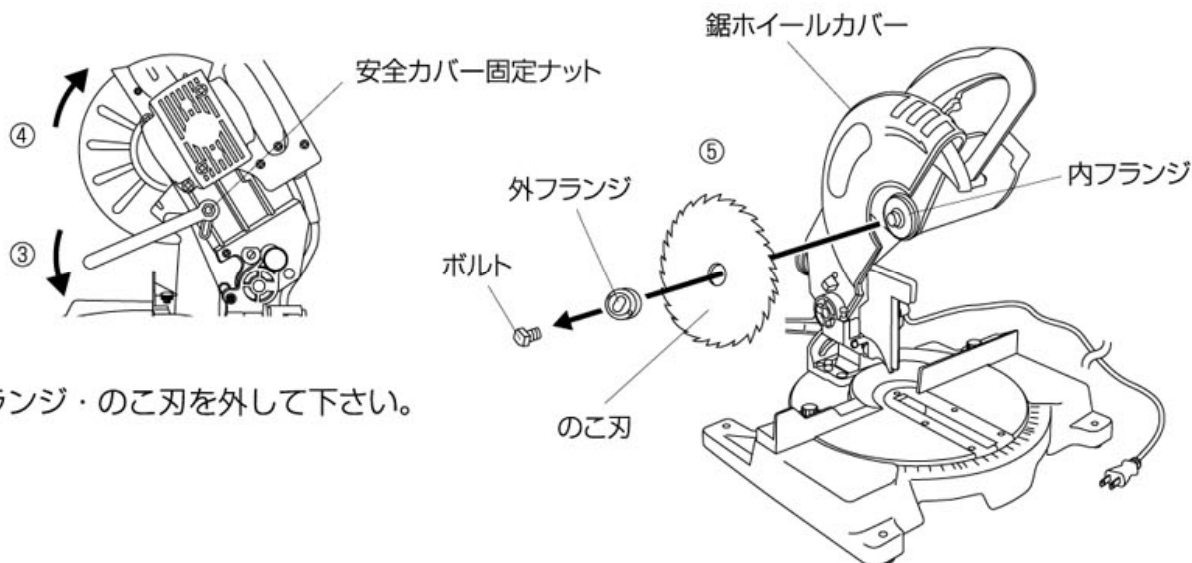
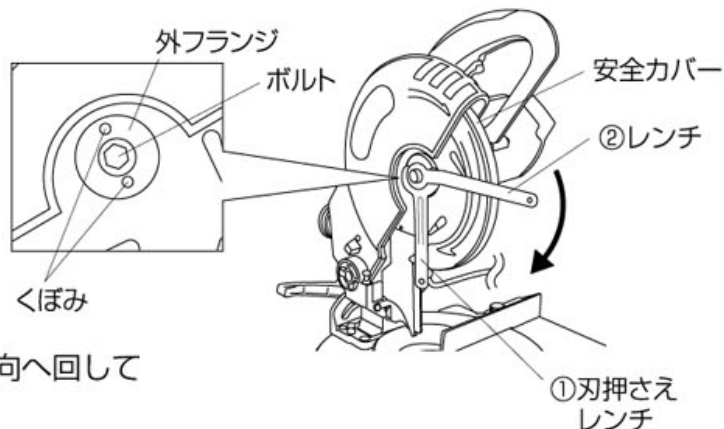


のこ刃の取り付け・取り外し

※のこ刃の取り付け・取り外しの際は必ずスイッチをOFFにして電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
 ※のこ刃は刃物です。取扱いの際には必ず手袋を着用し、安全に作業を行って下さい。
 ※付属のレンチ以外の工具を使用されますと、締め過ぎや締め付け不足になり故障・ケガの原因になります。

取り外し ※電源プラグを抜いて下さい。

- ①刃押さえレンチを本体外フランジのくぼみに差し込み、のこ刃が回らないように保持します。
- ②付属のレンチをボルトに当て矢印の方向へゆっくりと回してボルトをゆるめて下さい。
(ボルトをゆるめるだけでまだ外さないで下さい。)
- ③安全カバー固定ナットにレンチを当て矢印の方向へ回してナットをゆるめて下さい。
- ④安全カバーを最後まで引き上げて下さい。



- ⑤ボルト・外フランジ・のこ刃を外して下さい。

取り付け ※電源プラグを抜いて下さい。

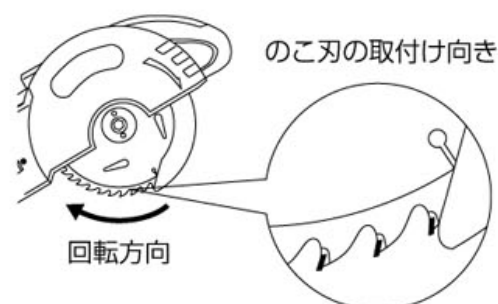
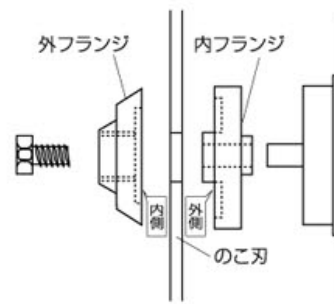
〔 外径190～180mm 内径20mmののこ刃を使用して下さい。〕
 〔 (刃底径が160mm以上のものを使用して下さい。) 〕

●取り外しの逆の要領で行なって下さい。

※取り付け部、回転軸、安全カバー、鋸ホイールカバー、内・外フランジ、ボルトに切屑などの汚れがある場合は取除いて下さい。

- 内・外フランジの方向を確認して下さい。
内フランジ—軸穴の周囲に溝がある側が外側です。
外フランジ—段付きのくぼみのある側が内側です。
- のこ刃の回転方向をよく確かめて取り付けして下さい。
(逆に取り付けると、のこ刃の刃先をいためるばかりでなくケガの原因になります。)

※のこ刃の取付けは正しく確実に行って下さい。
 間違った使用は故障やケガの原因となります。

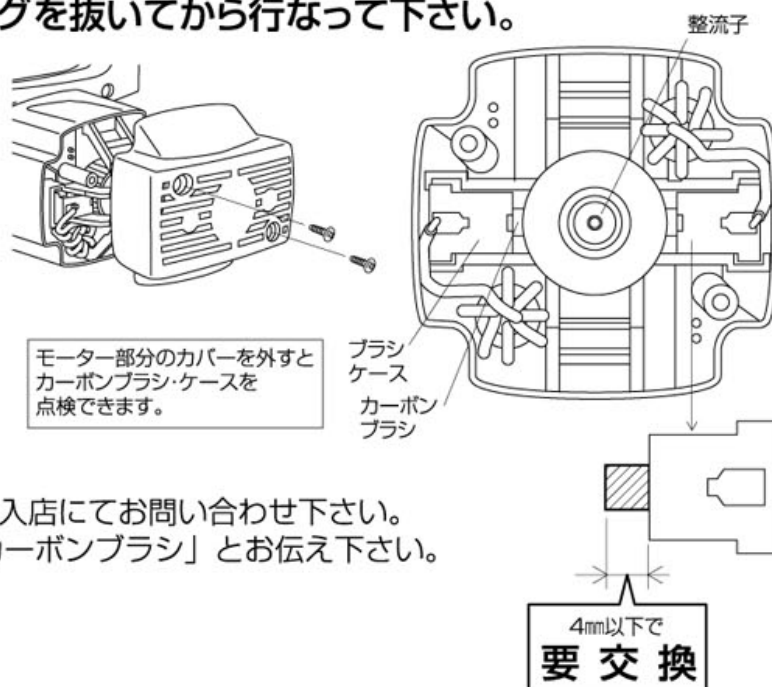


保守・点検

※お手入れをする時は、必ず電源プラグを抜いてから行なって下さい。

カーボンブラシの点検

- スイッチを入れても作動・回転しない場合はカーボンブラシが磨耗限度を超えている場合があります。
ブラシケースから露出しているカーボンブラシの長さが約4mm以下（整流子に接触していない）になったら左右同時に交換して下さい。



交換用カーボンブラシのお買い求めは、購入店にてお問い合わせ下さい。
ご依頼の際は、「卓上丸のこTM-190用カーボンブラシ」とお伝え下さい。

安全カバーの動作点検と整備

- 安全カバーはハンドルを下げると自動的に開き、ハンドルを上げると自動的に閉じます。
- 安全カバーの開閉が中途半端なまま使用したり、固定しての使用、取り外しての使用は絶対にしないで下さい。
- 安全カバーの動作が正常でない時は、使用せずにただちに修理に出して下さい。
- 安全カバーに切粉など付着して、のこ刃の刃先が見にくくなった時は、電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布等で切粉を拭き取って下さい。

その他

- のこ刃にヒビ・割れ・チップの欠けなど異常がないか点検し、切れ味の悪くなったもの、異常のあるものは、使用しないで下さい。
- 機械は定期的に手入れをして下さい。安全な作業ができるように常にきれいに保守点検を心がけて下さい。
- 故障の際には必ず修理に出すようにして下さい。
- 本体をゴミ、ホコリの多い場所、高温や直射日光のあたる所（50℃以上）湿気の多い場所、風通しの悪い場所、小さなお子様手の届く場所には保管しないで下さい。本機にはのこ刃（刃物）がついています。十分に考慮のうえ、保管して下さい。
- メンテナンスの際、本体は水で洗わず乾いた布で拭くようにして下さい。ぬれた布、ワックス、アルコール類、シンナー、ベンジン等のご使用は製品の破損や故障の原因となります。
- 回転部、安全カバーなど、作業に影響を及ぼす全ての箇所に切削屑やゴミが詰まらないように注意して下さい。動作不良や故障の原因になります。

MEMO

保証書

※保証期間内において取扱説明書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本保証書により、無償で修理致します。
(本保証書はお買い上げ商品にのみの適用ですので、一切の工事費用は適用外となります。)

JANコード	4907052 379794	保証期間	お買い上げ日より 6ヶ月
お買い上げ日	年 月 日		
販売店	※販売店名・お買い上げ年月日の証明できるものがない場合、無効となりますので必ずご確認ください。		

※保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と本書をご持参の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。

保証期間内でも次の場合には有料となります。

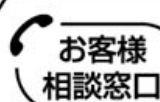
- (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
- (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
- (ハ) 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障及び損傷。
- (ニ) 一般家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車輛・船舶への搭載)に使用された場合の故障及び損傷。家庭用商用電源以外での本体・併設設備の故障及び損傷。
- (ホ) 本書の提示がない場合。
- (ヘ) 本書にお買い上げ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合・あるいは字を書き替えられた場合・個人販売など販売店名が不明な場合。

※チップソー・カーボンブラシは消耗品ですので保証期間内であっても有料となります。

発売元



株式会社 高儀



お客様
相談窓口

技術的・専門的情報のお問い合わせは…

TEL 0258-66-1233 〒954-0111 新潟県見附市今町5-408

受付時間 AM9:00~PM5:00 (土日祭日および当社の休日を除く)

■お客様相談窓口における個人情報の取扱い

弊社は、お客様へのサービス提供の為、収集目的を通知した上で必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがあります。個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行う為に必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。

型 式	品 名
TM-190	EM 190mm卓上丸のこ

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。